



龍門滝



広報

かじき

〔平成2年国勢調査確定値公表に伴う基礎人口補正後の人口〕
人口・世帯の動き
(平成4年2月1日現在)

総人口 23,745人(+32)	出生 21人
男 11,101人(+26)	死亡 22人
女 12,644人(+6)	転入 81人
世帯数 8,430 (+10)	転出 48人

●()内は前月との比較●

題字 宇都宮町長



28万人の人ででにぎわった初午祭(鹿児島神宮)

ご神馬のふるもと
木田郷
シャン、シャン——。
木田郷のご神馬が、二十八万人の見物客が見つめる鹿児島神宮参道を、鈴を鳴らし太

鼓やかねの囃子に合わせ、リズムカルに足を踏んで一番奉納をする。
この初午祭は、隼人町の大イベント。しかし、先頭を切るご神馬は、古来加治木町大字木田の馬とされている。なぜ?——それは、鹿児島神宮の御祭神(彦火々出見尊)の乗馬が、加治木の木田郷で飼育されていたことに由来するといわれている。それにしても、加治木の馬が隼人町のイベントの主役とは、なんとも鼻が高いことではありませんか——。

平成4年

今月のページ

☆ボランティア推進本部を結成……2ページ ☆ふれあい物産館から……3ページ ☆まちの話題……4～5ページ
☆カメラルポ……6～7ページ ☆広域農協合併……8ページ
☆椋鳩十の本・ゴミ・作文……9ページ ☆おしらせ……10ページ

3

月号

●No. 449

発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62-2111 ●

あなたもボランティア活動に

参加しませんか！

三大柱

福祉の推進

健康の増進

町の美化推進

ボランティア推進本部を結成

「だれでも自由に参加できるボランティア組織をつくろう」と二月八日、福祉センターで百五十人余りが参加して、ボランティア活動推進本部が結成されました。

この日は、役員選出の後、福祉増進、健康増進、ふるさと美化運動の三本柱をかけた大会宣言を採択しました。

この推進本部は年四回（二、五、八、十一月）、それぞれの月の目標に沿ったボランティア活動に取り組み、二時間ずつで一年に八時間、ちよつとしたボランティアか

ら始めようというもので、参加者のお互いのボランティア意識の高揚を図る会です。

みなさん、ご賛同の上、ぜひ御参加くださるようお願いいたします。

役員（敬称略・一言コメント）

本部長 山崎 昭

福祉部長 大吉 操

◎みんなの幸せづくりのための福祉活動を進めていきます。

健康部長 寺迫慶子

◎自分のリズムに合わせて、生き生き健康づくりを進めていきます。

美化部長 中山澄雄

◎一人ひとりがその気になって、みんなで力を合わせましょう。

よろこびにつなぐ

奉仕のまちづくり

本部長 山崎 昭

私たちの町に、だれでも参加できる福祉推進の会が発足しました。福祉の心、福祉の輪を広げ、町をきれいにし、健康づくりを推進していこうという会です。行政も常に力を入れていること



山崎 昭さん



大吉 操さん



中山澄雄さん



寺迫慶子さん

ですが、行政だけで住みよい町ができるものでもありません。

世界一長寿国の高齢化社会をみんなで支え、住みよい、きれいな町にしていくため

「自分は何ができるのか！」を考えていく会です。

天は私たちに、時間を平等に与えてくれていますが、余暇の過ごし方は、人それぞれです。

自分も社会の一員として生きていくという喜びを、元気なときに

少しでも役立たせたい、その願いをこめた人たちの集いです。一年三百六十五日のうち、自分のできる時間でもいい、そんな運動を進めてまいります。

ちよつとしたお手伝いを！



アキカンひろいで町の美化を！



加治木町福祉活動推進本部設立総会



会場にはおおぜいの参加者が

ボランティア活動ご希望の方は、町社会福祉協議会（福祉センター内）までどうぞ。

☎ 63-12080



護国神社で

建国をしのび国の繁栄を願う 「建国記念の日」の行事

建国記念の日の二月十一日護国神社境内で、国の繁栄を願う奉祝行事が行われました。

この日は、式典の後、参加した二十人余りのかたがたは、日の丸の小旗を手に蒲生田通りを元気にパレード。その後、福祉センターで蔵王太鼓（中元邦利代表）が上演されました。



ふれあい物産館だより

いろいろな品物がそろっています

ふれあい物産館はオープンして早や十か月を経過しました。

これからも、皆様に気軽にご利用いただける物産館として運営していきます。

現在、取り扱っている商品をご紹介します。

キャロット製品・大楠みそ・豚みそ・竹の子製品ほか・お茶・海産物・漬物・ジュース類・しいたけ・健康酢・葉草ワイシャツ・龍門司焼・スッポン製品・竹かご類・使い捨てカメラ・温泉水・鹿児島ラーメン（全国無料配達）など

このほか、喫茶店も営業しています。打ち合わせ、待ち合わせなどにご利用ください。



受賞されたみなさん



大よろこびの子供たち

つくイタ丸いポストだ

かずみ保育園に郵便局が設置

加治木郵便局（平八重秀信局長）

では「園児の情操教育に」と二月十七日、かずみ保育園（池田美智子園長・園児六十人）に、赤い丸型ポストを贈呈しました。

贈呈式で、平八重局長が「大切にかわいがってください」とあいさつすると、園児から花束や手作

りの首飾りが贈られました。

その後、園児らの書いた文集を五年後を期して投函し、封印。五年後が楽しみです。

この丸型ポストは、昭和四十五年以降製造中止となっており、現在町内で使用されているのは一か所のみという状況です。

遺産の火は尽きることなく

史談会総会を開催

加治木史談会の総会が二月二十三日、六十人余りが参加して福祉センターで行われました。

この史談会は、発足から六十余年の歴史をもつ由緒ある会。温故知新（古きをたずねて新しきを知る）のことわざのとおり、諸先輩方が加治木のいにしえを紐解き、後世に永く残そうと結成されたも

のです。

また、会員が大幅に増えて大所帯となった史談会を運営される白尾春樹会長は、「先輩諸賢の遺産の火は尽きることなく今日に至っています。先輩諸氏の意をくんで今後会員一丸となつてがんばっていきます」と、新会長としての抱負を述べられました。

若松浩太郎くんら五人が受賞

県明るい選挙習字コンクール

特選

若松浩太郎・柁城小六年

入選

大坪 健一・柁城小五年

入選

大坪 康治・柁城小五年

宮之前笑子・柁城小三年

石野いくみ・加治木小六年

平成三年度県明るい選挙習字コンクールで、応募総数一〇、一八五点の中から若松浩太郎くんら五人が入賞しました。
（受賞者・敬称略）

身近な話題やニュースは文書係まで (☎62-2111)

Town NEWS

●まちの話題



わたしは生まれつき踊り好き?

ご神馬に夢をのせて

鹿児島神宮の初午祭は二月二十三日行われ、細くて長い参道は訪れた二十八万人の観客であふれていました。

——ご神馬は荒馬が原則。

今年の馬は、西ノ原自治会の沢崎菊男さん所有の「きくふみ号」(七歳)。体重二百五十三貫目(約九百五十キ)、丈六尺(約一丈八十センチ)のりっぱな体型の毛並みのいい白馬で、大字役員や壮年会員らの手で、生まれて初めて踊る白馬を毎日調教。みんなが「例年よりよく踊る馬じゃ」とベタほめするほどの踊り上手になりました。



ジッと見入る土井たか子さん

まあ、びつくりしたわ!

前日本社会党委員長の土井たか子さんが二月十四日、龍門司焼の窯元を訪れました。

土井たか子さんは、宮崎市から早朝のえびの高原越えで鹿児島入りし、昼すぎに龍門司焼に到着。

おつかさん

龍門司焼を拝見

出迎えた人々とガッチリ固い握手を交わした後、川原輝夫さんのていねいな説明にうなずきながら、熱心に見学していました。

生で見るおつかさんは、スラリと背が高く、さつそうとした気品ある風格。また、委員長を退任したせいか、テレビで見たあの険しい顔つきも消え、終始なごやかな笑顔をふりまいていました。

その後、川原弘雄さんのろくろ廻しの匠の妙技に見入り、出来上がったとたんに「まあ、びつくりしたわ」と目をみはり、思わず驚嘆の声を上げていました。

初午祭

馬主・沢崎菊男さん

本番前日には望岳園を慰問。長く入園しているお年寄りたちは、昔なつかしい馬踊りにこみ上げるものがあるのか、泣き声をもらし涙を流す人も……。

さて本番——。大きなボンパチャ、あでやかな飾りを背負った「きくふみ号」が、おおぜいの踊り子をしたがえ、元気いっぱい、鹿児島神宮参道を踊っていくと、観客たちは「うわー、りっぱな白馬ね。私の夢も乗せてよ」と拍手喝采。天駆ける白馬の如く華麗に舞うご神馬の雄姿に、訪れた観客らは酔いしれていました。



晴れの舞台は堂々と



のぼり窯を見学



卓球バレーで仲良しに

みんな仲良くな！

竜門小学校（児童九十一名）では、一緒に楽しく遊ぶと二月十九日、加治木養護学校の仲間と交流教育を行いました。これまで毎年町内の小・中・高校の仲間が南九州病院まで訪問していました。今回は養護学校のみなさん（小学部二十六人）が、竜門小学校にやってきました。養護学校の児童は「やはり普通の人のいる学校に行ってみよう」という念願がかなって大喜び。竜門小学校の児童と一緒に、卓球バレーや歌、わなげなどをして楽しく過ごしました。

竜門小と 加養が交流教育

日本防火協会から表彰



表彰状を手に

川野保育園（立山経弘園長・園児九十人）の幼年消防クラブが、財団法人日本防火協会から表彰を受けました。これは、日ごろの活躍が認められ、優良クラブとして表彰されたもので、県下で一つ（全国四十六団体）という栄ある受賞です。川野保育園幼年消防クラブは、三十余年町中央分団に席を置いた立山園長の発案により、管内でトップを切って昭和五十九年結成されたもので、年間を通し、きびしい規律訓練や体験学習、町出初式などに参加しています。



幼年消防クラブの活動（出初式）

川野保育園 幼年消防クラブ

はいっあつたれさま

町公民館婦人部

県下一周駅伝競走大会最終日の二月十九日、町公民館婦人部（西山和子部長）の十二人が性応寺境内で、力走した選手らの接待を行いました。

この日は、始良チームは首位鹿児島に次いで二位で通過。沿道のわき起こる声援を背に、選手らはタスキを引き継ぎ元気がいいに飛び出していました。ゴールした選手は「おいしいまんじゅうにお茶をどうぞ」とすすめる婦人の方に、母親の顔が浮かんだのかホッとした表情で、パクリと食べていました。



走り終えて……

加治木
トピックス

カメラ
・ルポ

焼酎「龍門滝」が総裁表彰

さつま司酒造(株)



加治木町のPRになれば...

町の観光特産品にと、さつま司酒造(株)(越智純一郎社長)が製造している「龍門滝」が二月四日、優等賞を受賞しました。

これは、毎年開催される焼酎鑑評会で獲得したもので、鹿児島県本格焼酎鑑評会総裁(県知事)の権威のある賞です。

龍門滝は、今や加治木町観光の目玉的存在。滝と焼酎がともにその名を広く県下にアピールしてくれました。

これからも加治木町の特産品として、町の活性化に役立ててもらいたいものです。

新たな目標に向かって

西浦地区で
立志式

西浦地区公民館では二月二十二日、三十人余りが参加して、立志式がおごそかに行われました。

称略)の七人。新たな目標に向かって、一人ひとりそれぞれ、立志の決意を述べました。

その後、家族や地区のみならずから祝福を受け、かねて味わえないふるさとのぬくもりに、立志者全員感激していました。



よろしくお願いします



出席されたかたがた

愛の献血功労者を表彰

池田憲晃さんら十八人

尊い命を救う、愛の献血に協力された十八人のかたがたに、日本赤十字社から表彰状や有功章が贈られました。

表彰伝達式は三月六日保健センターで行われ、宇都宮町長が「多くの尊い命があなたがたの協力で救われています。これからもよろしくお願いします」と、表彰状や有功章を手渡し、その労をねぎらいました。

受賞者は、次のかたがたです。
(敬称略)
〔金色有功章(五十回)〕
池田憲晃▽武田俊郎▽岩澤正継
▽又木裕二▽林亮一

〔銀色有功章(三十回)〕
鳥越武一▽田原則雄▽田原千美
子▽千葉重人▽増田明▽濱田耕
一▽福森徳昭▽古江弘美▽原治
利▽向江美喜▽庄村信行▽勝目
芳生▽安永静哉

町内の学校に竹ボーキを寄贈

米寿の記念に・福森松男さん

福森松男さん(限原・八十八歳)が米寿の記念にと誕生日の二月十八日、「町内の各学校で使ってください」と、年にちなみ八十八本の竹ボーキを乙須教育長に手渡しました。

これは、福森さんが昨年からこつこつと作っていたものを寄贈したもので、小学校低学年には握りやすいようにサオを短くし、掃除が楽しくできるように工夫されています。

また、福森さんはこれまでも地元永原小学校に竹ボーキを寄贈し、子どもや先生がたから喜ばれています。



息子さんから竹ボーキを乙須教育長に

自治会へお助けを！

資源ゴミ回収リハースル

「資源ゴミを自治会ぐるみで回収しよう」と二月二十九日、西反土前・後、川原、田中、竹下の自治会で、ビン類の回収リハースルが行われました。

これは、西反土公民館（西反土前・後、川原・東脇正徳さん代表）が、昨年八月から月初めの三日間に、自治会内で資源ゴミの回収を行っていたものを参考に、自治会ぐるみで行う場合の「資源ゴミの回収リハースル」を試みよう」と町から依頼し、西反土前・後、川原、田中、竹下の自治会をモデル地区に行ったものです。

平野正男竹下自治会長は「資源ゴミの回収は個人でやるより

も、自治会ぐるみで行う方がいいですよ」と、一生けん命ビンを車に積み込んでいました。

この日は、回収に費やされる時間、量などを町と岩掃の職員が克明に測定。結果は、一升ビン四二七本、ビールビン三一七本、コーラビン三六本、サイダービン二七本でした。

これをもとに分析し、町内全自治会に推進していきます。

「ゴミは、今や深刻な社会問題。自治会単位で処理すれば、効率よく回収されます。」

みなさん、自治会内でゴミ処理について、真剣に話し合ってみませんか？

九州大会に出場

がんばれ！柁城ソフトチーム

柁城ソフトボールスポーツ少年団（宮嶋實監督）は三月二十八・二十九日阿久根市で開催される第二回九州小学生選抜男子・女子ソフトボール大会に出場することになりました。

柁城ソフトチームは、昨年行われた県大会でみごと優勝し、

県代表の座を射止めたもので、チームは五年生以下の編成。主将の川田将士くんは「日ごろ鍛えた実力を出しきって、優勝めざして頑張ります」と意気込んでいました。

広報紙が届くころには、朗報が聞かれるかも知れません。



5年生以下の部員



一人ひとりがその気になって…

竹ボーキ作り教室を開催

町老人クラブ

町老人クラブでは、「竹ボーキ作りを勉強しよう」と二月二十七日、下楠園敷さん宅（楠園）で十三人が参加して、竹ボーキ作り教室を開催しました。

これは、県の事業として行ったもので、先生役の下楠園さんや長野さん、猪目さん、鹿屋さん、満尾さんらが初めての方や腕に自信のなかった方に、こまやかに教授。参加した元収入役岩屋稔さんは「今までは自己流で作っていたので、当たり前の作り方を覚えたかった……」と熱心に聞き入っていました。



ほー、そんなにするのか…

野元雅史くんら九人が特別賞

MBC硬筆書写コンクール

平成三年度第二十二回MBC硬筆書写コンクールの表彰式が二月二十三日開催され、特別賞に加治木町から野元雅史くんら九人が選ばれました。

受賞者は、次のとおりです。（敬称略）

鹿児島市教育委員会賞
野元雅史（錦江小六年）

三菱鉛筆賞
野元章久（錦江小二年）
稲留里一子（錦江小四年）

中村一志（錦江小五年）
宮里暁奈（加治木小一年）
寺師智子（錦江小四年）
山下由美子（錦江小五年）
永野美由紀（錦江小六年）
ブロッコ特別賞
田中淑子（加治木高校二年）



加治木町農協が

あいら農協加治木地区事業本部に変更

始良郡内の農協合併を実施

農業の国際化、金融自由化の進展、農家組合員の高齢化など、今農業をとりまく環境も大きく変わろうとしています。

こうした状況をふまえ、県は農業生産の構造変革に踏み切り、九十六市町村農協を広域合併し、県レベルで十二の広域農協をつくる準備をすすめています。

そうしたなか、まず始良地区と出水地区が三月一日に合併。始良地区では十二市町農協を合併し、「あいら農業協同組合」が発足、事務所は仮に県農協連加治木事務所（加治木町商工会館前）に置か

れました。

また、郡内十二市町の農協は現在の農協に置かれることになり、地区事業本部と変更。加治木町農協の名称は、加治木地区事業本部と変わることになります。

しかし、従来の農協のスタイルはそのまま、名称は各支所の頭に「あいら農協」がつくことになります。（例、加治木町農協小山田支所↓あいら農協加治木地区事業本部小山田支所）

なお、各地区事業本部には、以前の組合長が地区担当常務として残ることになります。



広域農協合併の

木
ら
、

この広域農協合併のねらいは、地域農業の再編や魅力ある地域づくり、また組合員の負託に応えるため、農協の各事業機能の革新と人的・物的体制の整備で、

第一に専門的な農業の技術・経営指導体制の整備。第二に魅力ある地域社会の建設。第三に規模拡大による信用力の増大や、専任体制による専門機能の発揮。第四に専門的知識や技術をもつ人材の育成。第五に県下農協全体の組織・事業運営の合理化・効率化などを掲げています。

〔あいら農業協同組合〕

組合員数 二四、三九九人

一五七人

職員一〇四〇人

組合員 一、八九六人

役員 一二人

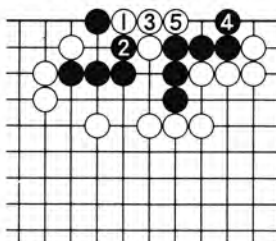
職員
六三人

国土緑化運動
強調月間
—3月～5月—

緑が育つ
人が育つ
緑の大地
夢ある国土



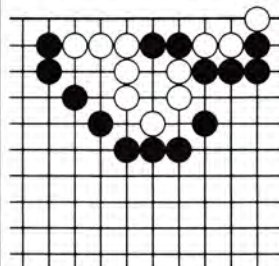
(先月号の解答)



〈詰碁正解〉白1のコスミツケが妙手、以下白5までで四子ナカ手。

〈詰将棋正解〉3三金、同玉、3四飛、2三玉、3二飛成、1二玉、1一金、同玉、2一竜まで9手詰め。

【解説】金打ちが正解ですが、3 四に打っては1 四玉とかわされて失敗。3 三金に①1 二玉なら1 一金、同玉、3 一飛、1 二玉、2 一飛成まで。②2 四玉なら、3 四角成で詰みます。



詰 碁

出題 十段 武宮正樹

● 白先生き・7手まで
ヒント：右よりハネて、石の

3分で2級、1分以内で有段者。

詰将棋

出題 八段 北村昌男

●ヒント…まさか初手に歩打ちはない。とすると……。

10分で3級、5分で初段。

持駒

持駒 飛歩

6	5	4	3	2	1	
		銀	銀			一
				角		二
		王	王	角		三
				零		四
		歩				五
						六
						七
						八
						九

本十の鳩

夕やけ色のさようなら

棕先生が残した33章

棕鳩十著（一、〇一〇円）
理論社

この本は、棕先生の遺稿集である。亡くなられてから、心ある方々の編集によつて出版されたものである。

大きく五つに分けてある。

- 1、ふるさとの鈴
- 2、メルヘン誕生
- 3、わが家の動物記
- 4、子どもたちの心
- 5、心に金の鈴を

さらに小分けにして、全部で33章から成っている。

どの文章をとり出しても、またどんなに短い文をとり出しても、太陽のように、さんさんと照り映えているし、珠玉のように、きらきらと輝いている。

第1章 遠き日の裏山

少年時代松林で本を読んだ時の思い出、いろいろな小鳥のたわむれ、クヌギ林の話など。

金の鈴のように、心の中に、いつまでも鳴りひびく、思い出をつくってくれるものが、遠い日の山には、いっぱいあった。

第11章 私とメルヘン

青春の日、感激してしまつと、その作家にめ入ってしまう。ダンセニイやフォフマンの詩に魅せられて詩を書いた。

その後五十年近くフィクション

ンとノンフィクションの中間作品を書いた。死ぬまでには、一編、長編のメルヘンを書きたい。（このころ、とうとう願望が終ってしまった）

第23章 美しいということ

年末の食堂で、若いおかあさんと幼児。

「旗をたてたご飯ね。旗のある、ご、は、ん。」

ところが、『子どもランチに旗がない。』

限りなく美しい夢が消えた幼児の表情、夢がなくなったときの輝きを、明快に、いたいほど光りのことばで表現している。

第32章 心に金の鈴を

子ども。知識。辺倒では困る。母の語り聞かせ、物語がほしい。おやつを食べながらでもよい。おふろにはいりながらでもよい。

心に鳴りつづける金の鈴は、豊かな人間形成における、きわめて重要な要素である。と。味わい。考えさせる章である。

棕文学は、愛の文学である。「夕やけ色のさようなら」を読んでいると、少年期の強烈な感動的な体験が、生涯をつらぬいていることを痛感させられる。

（解説）
棕鳩十文学記念館長榎園高雄



〈シリーズ〉
作文

特別賞
白尾由香
錦江小五年

ゴミの後始末

私は、毎朝登校の途中、ゴミステーションの前を通ります。

週に二回の収集日には、ゴミステーションはゴミの山と化しています。よく見ると、燃える物と燃えない物の区別がしてなかったり、いやなにおいがただよっていて思わず鼻をつまんでしまいます。また、おもちゃや用品など、まだまだ使えそうな物が多くたくさんあります。それを見ると、私は、

「まだ使えるのに、もったいないことをするなあ」と、つい立ち止まってきわつてしまいます。

そんな時、全校児童参加の、ふるさと美化活動を思い出します。私たち五年生の仕事は、海岸ぞいをきれいにすることでした。海岸一面を見わたすと、ア

ニキカン、おかしの入ったふくろ、ビン、ビニールなどがたくさん落ちていました。ずっと拾い続けて、ゴミを集めている所へ持つて行くと、あまりのゴミの多さにおどろいてしまいました。なぜこんなに海に物を捨てるのだろうと思いました。

また、地域行事であるあみ掛川の清掃がありました。これは主に、川の中のアキカンなどを拾い歩くことでした。拾ってみると、出てくる、でてくる。どろの中にかくれたカンがたくさんありました。拾い終わってみると、川のまわりがとてもきれいでした。

「なんだか、川の中まできれいになったようだね」という人がいました。ふるりの川がよみがえったようです。

私は、汗をふきながら「清掃してよかったなあ」と思いました。

川や海は地球の大切な自然の一つです。その自然を自分たちの手でよこしてしまうなんて、とても残念なことだと思います。

「みんなが自然を愛する権利があるのだから、一人の人がその

自然をこわすなんて、ゆるせない」と思います。

私たちは、鉛筆、消しゴム、ノート、衣類、その他の日用品を、そまつにあつかっていないでしょうか。捨ててはならない所に、捨てたりしていないでしょうか。

今の時代は、使い捨ての時代ともいわれています。だからといって、まだ使える物やちよつと修理するだけで、りっぱに活用できる物まで、捨ててしまうのはどうでしょうか。

紙類やアルミかんは、再生できます。再生できる物は、どしどし利用すべきです。もつと、一人ひとりが、物を大切にしたいものです。

私自身も、使える物は大切にしていくな努力をしていきたいと思っています。



リサイクルで……

資源ゴミは家にためないで

いつでも役場へ持ってきてください。

（古新聞、古雑誌、空ビンなど）



九電からお願い
送電線の近くで建設工事や伐採などをされるときは、危険ですから、事前に九州電力へご連絡ください。

平成4年4月在宅医表		
5	加治木整形外科	整形外科 理学療法科 加治木町港町147-2 ☎62-3711
12	加治木温泉病院	内科・放射線科 泌尿器科 加治木町木田4714 ☎62-0001
19	松元医院	内科 溝辺町有川231 ☎59-2823
26	佐藤医院	内科・小児科 溝辺町有川327-2 ☎59-2607
29	壺岐内科	内科・小児科 循環器科 加治木町諏訪町194 ☎62-2222

※ 診療時間は午前9時から午後5時まで。(原則として)
※ 当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。

1992
3
おしらせ



御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福をお祈りいたします。(内は故人。)

町社会福祉協議会へ

- 三万円 橋園 杉森和則(母 シツハ五)
- 三万円 下東木 犬童弘(母 キワハ)
- 二万円 須崎 小坂桃江(夫 登ハ)
- 二万円 黒川 鶴留仁(母 シメハ)
- 三万円 中央 上屋 齋(母 ツナ子七)
- 五万円

無料 人権法律相談
鹿児島県地方方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。
お気軽に御相談下さい。
秘密は、固く守られます。
郡山政弘 木田一六三(一) ☎63-3585
中摩多美子 反土二七五六 ☎62-2768
竹下利行 木田一四九 ☎63-1818

- 隈原上 堂森ミツエ(夫秀記七五) 三万円
- 川内 東川内チエノ(夫清四) 三万円
- 東堀入 上猶厚二(父 市二六) 十万円
- 中浜 亀井フジエ(夫政夫八三) 三万円
- 岩原西 瀬戸口茂(妻フチエ七四) 三万円
- 垂ノ口 小屋敷茂子(夫慶二六三) 五万円
- 吉原 岡元敏子(夫 虎男八四) 三万円
- 田中 久保良盛(母 ヒデ九六) 五万円
- 下嶽 山口利雄(母ユキエ八二) 五万円
- 下新道 遠藤芳子(母 穂森キクエ七) 五万円



- 出生児 保護者 自治会**
- 井上 優希 勉 柳田
 - 今村 広大 秋一郎 赤坂
 - 大塚 知美 肇 西江口団地
 - 米澤 みく 洋一 原ノ門
 - 持永 優貴 剛志 反土黒川
 - 服部 祐耶 学 西雞場

- 内村しおり 春一
- 野原 湧太 正昭
- 西 あかね 正博
- 山瀬 雄介 憲一
- 日高 努 一美
- 原 美津貴 治利
- 越口 直樹 勝利
- 並木 久 優
- 堀之内琴奈 弘幸
- 片ノ坂智佳 雄治
- 柊崎 奈々 昭彦
- 福山真莉絵 博人
- ▽二月二十日までに住民票に記載された分を掲載しました。

特別寄付

四万八千七百五十二円
加治木新春懇談会一同 (名刺交換会)



毎月15日は
防火の日